

目の不自由な方、高齢者をサポート

エレベーターのフロア音声案内

後付け・外付け

階音くん

エレベーターのドアが開いて、磁石がセンサーから離れると、音声が流れます。◀▶



ご購入はこちらから



低コストで簡単に設置できます。

マンション

公共施設

商業施設

福祉施設

大学

病院



高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律

「バリアフリー新法」が、2006年に施行されました。(2020年改正)

視覚障害者がエレベーターを利用する際の対応策として、階数ボタンの浮き出し文字や点字併記、到着階の音声案内などの工夫がされています。

平成18年以前の音声案内設備がないエレベーターでは、視覚障害者が点字などで階数ボタンを押しても、他者が途中の階のボタンを押すと降りる階が判らなくなるため到着階の音声案内は必須ですが、旧式エレベーターに音声案内の機能を追加で導入するためには多額の費用が発生します。

当社が開発した「フロア音声案内装置・階音くん」は、「電源確保の必要もなく、簡単に設置して、すぐに稼働させることが可能です。

※「ドアが閉まる」、「昇降方向の案内」の音声機能には対応していません。

製造・販売元：株式会社シフト <info@shift.co.jp> 〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目19-11-1006

